

2026 年 8 月 3 日

第 4 期 決 算 公 告

東京都渋谷区渋谷一丁目 17 番 8 号
株式会社アップデートサポート
代 表 取 締 役 藤 田 直 行

貸 借 対 照 表

(2026 年 5 月 31 日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	48,239	流 動 負 債	18,068
現金及び預金	23,445	買掛金	4,570
売掛金及び契約資産	24,163	未払金	2,399
貯蔵品	5	未払費用	4,121
前払費用	554	契約負債	2,156
立替金	18	未払法人税等	362
未収入金	42	未払消費税等	3,356
未収法人税等	9	預り金	1,102
有 形 固 定 資 産	758	固 定 負 債	6,137
工具器具備品	889	退職給付引当金	6,137
工具器具備品累計償却額	△130	負債合計	24,206
繰 延 資 産	310	(純 資 産 の 部)	
創立費	310	株 主 資 本	25,102
		資本金	15,000
		資本剰余金	15,000
		資本準備金	15,000
		利益剰余金	△4,897
		その他利益剰余金	△4,897
		(うち当期純利益)	(1,425)
		純資産合計	25,102
資産合計	49,308	負債・純資産合計	49,308

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

I 重要な会計方針に係る事項

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産

貯蔵品

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

工具器具備品	4 年
--------	-----

3. 繰延資産の処理方法

・ 創立費

5 年で定額法により償却しております。

4. 退職給付に係る会計処理の方法

当社は、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

5. 収益及び費用の計上基準

当社は、以下の 5 ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

ステップ 1：顧客との契約を識別する

ステップ 2：契約における履行義務を識別する

ステップ 3：取引価格を算定する

ステップ 4：取引価格を契約における履行義務に配分する

ステップ 5：企業が履行義務の充足時に収益を認識する

6. その他計算書作成のための基本となる事項

・ 消費税等の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の処理方法は、税抜方式によっております。

II 貸借対照表に関する注記

親会社に対する金銭債権及び、金銭債務は次のとおりであります。

短期金銭債権	939 千円
短期金銭債務	288 千円

III 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

以 上